

令和6年度 兵庫森林管理署公共工事契約状況

令和6年6月13日

分任支出負担行為担当官
兵庫森林管理署長 古藤 信義

工事名	施工場所	工事種別	工事概要	入札方式
城山山腹工事	兵庫県芦屋市芦屋町(城山国有林)	治山工事	山腹工 0.11ha	一般競争入札 (総合評価)
予定価格(税抜き)	調査基準価格(税抜き)	契約年月日	契約相手方の商号又は名称及び住所	
92,062,000円	83,609,710円	令和6年6月10日	株本建設工業株式会社 兵庫県美方郡新温泉町芦屋338-1	
契約金額(税抜き)	工事着手の時期	工事完成の時期		
84,000,000円	令和6年8月	令和7年2月		

- 予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。)第73条の規定に基づく競争参加資格
別添「入札公告」のとおり
- 競争に参加しようとした者の商号又は名称並びにそのうち競争に参加させなかった者の商号又は名称及びその者を参加させなかった理由
別添「競争参加資格確認結果書」のとおり
- 入札者の商号又は名称及び各入札者の各回の入札金額
別添「入札執行調書」のとおり
- 予定価格の作成に用いた積算価格についての内訳
別添「工事積算内訳書」のとおり
- 予決令第91条第2項の規定により総合評価落札方式を実施した理由及び落札者決定基準
別添「入札公告」のとおり

入札公告(建設工事)

次のとおり一般競争入札(政府調達対象外)に付します。

令和6年4月24日

分任支出負担行為担当官
兵庫森林管理署長 古藤 信義

1 工事概要等

- (1) 工事名 城山山腹工事(電子入札対象案件)
- (2) 工事場所 兵庫県芦屋市山芦屋町(城山国有林)
- (3) 工事内容 別冊図書及び別冊仕様書のとおり
- (4) 全体工期 契約締結日の翌日から令和7年2月28日まで
なお、週休2日を達成できないことを事由に工期を減じることとはしない。
- (5) 本工事の入札は、適切かつ円滑な実施を目的として、仕様に基づく簡易な施工計画に係る技術提案等を求め、当該技術提案等に基づき、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式(簡易型)のうち、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認し、入札説明書等に記載された要求要件を確実に実現できるかどうかを審査し、評価する施工体制確認型総合評価落札方式により行う。
- (6) 総価契約単価合意方式(包括的単価個別合意方式)の適用
ア 本工事は、「総価契約単価合意方式(包括的単価個別合意方式)」(以下「本方式」という。)の対象工事である。本工事では、契約変更等における協議の円滑化に資するため、契約締結後に、受発注者間の協議により総価契約の内訳としての単価等(共通仮設費、現場管理費、一般管理費等を含む)について合意するものとする。
イ 本方式の実施方式は、工事数量表の細別の単価に請負代金比率(落札金額を予定価格で除したもの)を乗じて得た各金額について合意する方式とする。
ウ 本方式の実施手続は、「総価契約単価合意方式(包括的単価個別合意方式)実施要領の制定について(試行)」(令和3年11月1日付け3林政政第357号林野庁林政部林政課長通知)及び「総価契約単価合意方式(包括的単価個別合意方式)実施要領の解説について(試行)」(令和3年11月1日付け林野庁林政部林政課長事務連絡)によるものとする。
- (7) 本工事は、入札を電子入札システムで行う対象工事である。
なお、電子入札システムによりがたい場合は、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。
- (8) 本工事は、山林砂防工適用工事であるため、施工困難工事に指定する。
- (9) 本工事は、週休2日を促進するため、現場閉所による週休2日に取り組むことを前提とし

て直接工事費及び間接工事費の一部を補正して実施する試行工事（発注者指定方式）である。
契約締結後、週休2日を確保して実施するものとし、その取組状況に応じ林野庁工事成績
評定要領（平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知）に基づく工事成績評
定において評価を行うとともに、「森林土木工事における週休2日の取組実績証明書」を発
行する。

また、本工事は、過去1年間（令和5年度）に森林土木工事における週休2日の取組実績
証明書の通知を受けた場合、総合評価の評価項目において加点対象となる工事である。

(10) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）に基
づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

(11) 本工事は、受注者の施工体制の確保及び建設資材の確保を図るため、発注者が示した工事
完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる余裕期間を見込んだ
工事である。なお、契約を締結するまでの間に、入札説明書により示す様式により、工事の
始期及び終期を通知すること。

工事の始期までの余裕期間内は、主任技術者及び監理技術者の配置は要しない。また、現
場に搬入しない資材等の準備を行うことはできるが、資材の搬入、仮設物の設置等の工事を
行ってはならない。

また、余裕期間内に施工体制等の確保及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員と
の協議により、工事着手できるものとする。

(12) 本工事において主任技術者を配置する場合、密接な関係のある二以上の工事を同一の建設
業者が近接した場所（相互の間隔が直線距離で10km程度又は移動時間が60分程度）において
施工するものについては、同一の専任の主任技術者がこれらの工事を管理することができる
ものとする。

(13) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費等の補正の試行工事の対象とし、日最高気温の
状況に応じた現場管理費の補正を行う工事である。

(14) 本工事は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加点を行う工事である。

2 競争参加資格

(1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条及び第71
条の規定に該当しない者であること。

なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得てい
る者は、予決令第70条中、特別の理由がある場合に該当する。

(2) 近畿中国森林管理局における令和5・6年度に係る一般競争参加資格の「土木一式 工事A、
B、C等級」の認定を受けていること（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続
開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開
始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、近畿中国森林管理局長が別に
定める手続に基づく一般競争参加資格の再確認を受けていること。）。

(3) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再
生手続開始の申立てがなされている者（上記(2)の再確認を受けた者を除く。）でないこと。

(4) 平成21年4月1日から令和6年3月31日までの間に元請けとして完成・引渡しが完了し
た、以下に示す同種工事を施工した実績を有すること（共同企業体が同種工事を施工した場合

における構成員の実績については、出資比率が 20%以上である構成員に限り、当該構成員の実績として認める。)

同種工事:森林土木工事(治山事業における溪間工事・山腹工事、治山災害復旧工事、林道事業における林道(林業専用道及び保安林管理道を含む)新設工事、林道改良工事、林道災害復旧工事)

なお、同種工事の施工実績が森林管理局長、森林管理署長、森林管理署支署長、森林管理事務所長、治山センター所長及び総合治山事業所長(以下「森林管理局長等」という。)が発注した工事のうち入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、「林野庁工事成績評定要領」(平成 10 年 3 月 31 日付け 10 林野管第 31 号林野庁長官通知)第 4 の 3 に規定する工事成績表の評定点(以下「工事成績評定点」という。)が 65 点以上のものに限る。

共同企業体にあつては、すべての構成員が上記の基準を満たす施工実績を有すること。

- (5) 当該工事の簡易な施工計画及び技術提案書が適正であること。
- (6) 次に掲げる基準を満たす主任技術者又は監理技術者を建設業法(昭和 24 年法律第 100 号)に基づき専任で配置できること。
- ただし、本工事において、現場施工に着手するまでの期間及び工事完成後、検査が終了し事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、必ずしも主任技術者又は監理技術者の専任の配置は要しない。
- また、主任技術者又は監理技術者の継続的な技術研鑽の重要性や建設業の働き方改革を推進する観点を踏まえ、技術研鑽のための研修、講習、試験等への参加、休暇の取得、その他の合理的な理由で技術者が短期間工事現場を離れることについては、適切な施工ができる体制を確保をし、発注者の承認を得た場合は主任技術者又は監理技術者の配置は要しない。
- また、本工事は、受注者が工事の始期と終期を設定することができる工事であり、契約締結日の翌日から工事の始期までの間は、主任技術者又は監理技術者の配置を要しない。
- ア 1 級若しくは 2 級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者。
- なお、詳細については入札説明書による。
- イ 平成 21 年 4 月 1 日から以降令和 6 年 3 月 31 日までに完成・引渡し完了した上記(4)の同種工事の施工経験を有する者であること。
- 共同企業体の構成員としての施工経験は、出資比率が 20%以上である場合のものに限る。
- ただし、共同企業体であつては、1 人の主任技術者又は監理技術者が同種工事の施工経験を有していればよい。
- なお、当該施工経験が森林管理局長等が発注した工事に係る施工経験である場合にあっては、工事成績評定点が入札説明書に示す点数未満のものは施工経験として認めない。
- ウ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者又はこれに準ずる者であること。
- エ 建設業法(昭和 24 年法律第 100 号)第 7 条第 2 号、第 15 条第 2 号に規定する本店、営業所等の専任技術者として登録されている者でないこと。
- (7) 競争参加資格確認申請書(以下「申請書」という。)、競争参加資格確認資料(以下「確認資料」という。)及び技術提案書の提出期限の日から開札の時までの期間に、近畿中国森林管理局長から「工事請負契約指名停止等措置要領の制定について」(昭和 59 年 6 月 11 日付け 59 林野経第 156 号林野庁長官通知)に基づく指名停止を受けていないこと。
- (8) 森林管理局長等が発注した工事で、令和 3 年度から令和 5 年度に完成・引渡しした工事の実績がある場合においては、当該工事に係る工事成績評定点の平均が 65 点以上であること。
- (9) 上記 1 に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本関係又は人的関係が

ある建設業者でないこと。

- (10) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。入札説明書参照。）。
- (11) 建設業法に基づく「土木工事業」の許可を受けている本店、支店又は営業所が、兵庫県内、又は隣接する京都府、大阪府、岡山県若しくは鳥取県内に所在すること。また、共同企業体として申請書、確認資料及び技術提案書（以下「技術提案書等」という。）を提出する場合は、有資格者名簿に記載されている共同企業体の本店所在地が、上記区域内であること。
- (12) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- (13) 以下に定める届出をしていない建設業者（建設業法（昭和24年法律第100号）第2条第3項に定める建設業者をいい、届出の義務がない者を除く。以下「社会保険等未加入建設業者」という。）でないこと。
ア 健康保険法（大正11年法律第70号）第48条の規定による届出
イ 厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第27条の規定による届出
ウ 雇用保険法（昭和49年法律第116号）第7条の規定による届出
- (14) (2)の競争参加資格を有していない者であっても、競争参加資格の確認申請を行うことができる。
この場合、(1)及び(3)から(13)の事項を全て満たしているときは、開札の時に(2)の事項を満たしていることを条件として、競争参加資格があることを確認するものとする。
ただし、開札の時に(2)の事項を満たしていない場合は、競争参加資格がないものとする。
- (15) 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者の配置を条件により認める工事であり、詳細は入札説明書による。

3 競争参加資格の確認等

- (1) 本競争入札の参加希望者は、上記2に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い技術提案書等を提出し、分任支出負担行為担当官から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。
- (2) 技術提案書等の提出期間、場所及び方法
- ア 提出期間
令和6年4月25日から令和6年5月13日まで（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条第1項に規定する行政機関の休日（以下「休日」という。）を除く。）の9時00分から17時00分まで（12時から13時までを除く。）。
- イ 技術提案書等の提出場所
〒671-2573 兵庫県宍粟市山崎町今宿 100-1
兵庫森林管理署 総務グループ
電話：050-3160-6170
メールアドレス：nyusatsu_hyogo@maff.go.jp
- ウ その他
電子入札システムを用いて提出すること。詳細は入札説明書によるものとし、郵送又はFAXによるものは受け付けない。ただし、承諾を得て紙入札による場合は、技術提案書等

は上記イに原則電子メール（提出期限必着。）で送信すること。

- (3) 上記(2)のア規定する期限までに技術提案書等を提出しない者又は競争参加資格がないと認められた者は本競争入札に参加できない。

4 施工体制確認型総合評価落札方式に関する事項

(1) 施工体制確認型総合評価落札方式の仕組み

本工事の施工体制確認型総合評価落札方式は、以下の方法により落札者を決定する方式とする。

- ア 入札説明書に示された競争参加資格を満たしている場合に、標準点 100 点を付与する。
- イ 上記 2 の (5) の技術提案書で示された実績等により、最大 30 点の加算点を与える。
- ウ 上記 2 の (5) の技術提案書、下記 6 の (12) の施工体制に関するヒアリング及び追加資料等の内容に応じて、最大 30 点の施工体制評価点を与える。
- エ 得られた標準点及び加算点並びに施工体制評価点の合計を当該入札者の入札価格で除して算出した値（以下「評価値」という。）を用いて落札者を決定する。
その概要を以下に示すが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準等については、入札説明書において明記している。

(2) 評価項目

以下に示す項目を評価項目とする。

- ア 簡易な施工計画（技術提案）に関する事項
- イ 企業の施工実績に関する事項
- ウ 配置予定技術者の能力に関する事項
- エ 企業の信頼性・地域への貢献に関する事項
- オ 施工体制の確保に関する事項

(3) 落札者の決定の方法

入札参加者は価格及び技術提案書等をもって入札する。標準点に加算点及び施工体制評価点を加えた点数をその入札価格で除して評価値（ $\text{評価値} = \{(\text{標準点} + \text{加算点} + \text{施工体制評価点}) / \text{入札価格}\}$ ）を算出し、次のア及びイの条件を満たした者のうち、算出した評価値が最も高い者を落札者とする。

ただし、落札者となるべき者の入札価格では、当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、入札価格が予定価格の制限の範囲内で、発注者の求める最低限の要求要件を全て満たして入札した他の者のうち、評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

- ア 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。
- イ 評価値が標準点（100 点）を予定価格で除した数値（基準評価値）を下回らないこと。

5 入札手続等

- (1) 担当部局：上記 3 の (2) のイと同じ。

(2) 入札説明書等の交付期間、場所及び方法

電子入札システムにより入札を予定している者は、電子入札システム内の入札説明書等ダウンロードシステム及び近畿中国森林管理局ホームページから入札説明書等必要な情報を入手すること。

なお、やむを得ない事情等により承諾を得て紙入札方式により入札を予定している者等には下記アからウにより入札説明書等必要な情報を交付する。

- ア 交付、閲覧期間：令和6年4月24日から令和6年6月3日まで(休日を除く。)の9時00分から17時00分まで(12時から13時までを除く。)
- イ 交付、閲覧場所：上記3の(2)のイと同じ。
- ウ その他：配付資料は無料である。

(3) 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

入札書は、電子入札システムにより提出すること。ただし、やむを得ない事情により発注者の承諾を得た場合は、紙入札方式による入札書を持参すること。なお、持参以外の方法による提出は認めない。

ア 電子入札方式による入札の開始は、令和6年5月30日9時00分、締め切りは、令和6年6月4日9時30分。

イ 紙入札方式による入札の場合は、ウの開札日に入札書を持参し、兵庫森林管理署 会議室において令和6年6月4日9時30分に入札すること。

ウ 開札は、令和6年6月4日10時00分に兵庫森林管理署 会議室 会議室において行う。

エ 紙入札方式による入札の場合は、分任支出負担行為担当官により競争参加資格があると確認された旨の通知書の写しを持参し、入札前に確認を受けること。なお、代理人が入札する場合は委任状をあわせて持参し、入札前に確認を受けること。

6 その他

- (1) 手続において使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

ア 入札保証金：免除

イ 契約保証金：納付

ただし、以下の条件を満たすことにより契約保証金の納付に代えることができる。

(ア) 利付き国債の提供

(イ) 金融機関若しくは保証事業会社(公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。)の保証。

また、公共工事履行保証証券による保証を付した場合又は履行保証保険契約の締結を行った場合には、契約保証金の納付を免除する。

(3) 工事費内訳書の提出

第1回の入札に際し、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書(様式は自由。)を電子入札システムにより提出すること。発注者の承諾を得て紙入札方式により入札する場合は、入札書とともに工事費内訳書(様式は自由。)を提出すること。

なお、当該工事費内訳書未提出等の入札は無効とする。

(4) 入札の無効

ア 本公告に示した競争参加資格のない者が行った入札、技術提案書等に虚偽の記載をした者が行った入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

イ 無効の入札を行った者を落札者としたことが明らかとなった場合には、落札決定を取り消す。

ウ 分任支出負担行為担当官から競争参加資格のあることを確認された者であっても、開札の時に上記2に掲げる資格がない場合は、競争参加資格のない者に該当する。

エ 上記アの場合には、「工事請負契約指名停止等措置要領」第1第1項の規定に基づく指名停止又は第10の規定に基づく書面若しくは口頭での警告若しくは注意の喚起を行うことがある。

- (5) 配置予定主任技術者等の確認
落札者決定後、CORINS(一般財団法人日本建設情報総合センターの工事实績情報システム)等により配置予定の主任技術者等の専任制違反の事実が確認された場合、契約の締結を結ばないことがある。なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合の他は、配置予定主任技術者等の変更は認められない。
- (6) 契約書作成の要否:要
- (7) 関連情報を入手するための照会窓口:上記3の(2)のイと同じ。
- (8) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加
上記2の(2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記3の(2)により技術提案書等を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時ににおいて、当該資格の認定を受け、かつ競争参加資格の確認を受けていなければならない。
- (9) 技術提案書等の内容のヒアリング
技術提案書等の内容についてのヒアリングは原則行わない。なお、ヒアリング実施の必要が生じた場合は別途通知する。
- (10) 本案件は、技術提案書等の提出及び入札を電子入札システムで行うものであり、詳細については、入札説明書及び「電子入札システム運用基準(建設工事及び測量・建設コンサルタント等業務)」(令和5年6月)による。
- (11) 発注者綱紀保持対策について
農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的とした、農林水産省発注者綱紀保持規程(平成19年農林水産省訓令第22号)第10条及び第11条にのっとり、第三者から以下の不当な働きかけを受けた場合は、これを拒否し、その内容(日時、相手方及び働きかけの内容)を記録し、同規程第9条に基づき設置する発注者綱紀保持委員会(以下、「委員会」という。)に報告し、委員会の調査分析において不当な働きかけと認められる場合には、当該委員会を設置している機関において閲覧及びホームページにより公表する。
(不当な働きかけ)
① 自らに有利な競争参加資格の設定に関する依頼
② 指名競争入札において自らを指名すること又は他者を指名しないことの依頼
③ 自らが受注すること又は他者に受注させないことの依頼
④ 公表前における設計金額、予定価格、見積金額又は低入札価格調査制度の調査基準価格に関する情報聴取
⑤ 公表前における総合評価落札方式における技術点に関する情報聴取
⑥ 公表前における発注予定に関する情報聴取
⑦ 公表前における入札参加者に関する情報聴取
⑧ その他の特定の者への便宜又は利益若しくは不利益の誘導につながるおそれのある依頼又は情報聴取
- (12) 施工体制を評価するために、技術提案書等の内容のヒアリングとは別に、施工体制に関するヒアリングを実施するとともに、技術提案書とは別に追加資料の提出を求める場合がある。
なお、ヒアリングに応じない者及び追加資料を提出しない者が行った入札は、入札に関する

る条件に違反した入札として無効とする。

- (13) 建設業者は、建設業法上、その営業所ごとに専任の技術者を置くことになっており、工事の主任技術者等は原則兼務できないことに留意すること。
- (14) 低入札価格調査又は特別重点調査を受けた者で過去2年度間の竣工工事で工事成績評定点が65点未満を通知された者と契約する場合は、建設業法の定めにより配置する技術者とは別に上記2の(6)に定める要件を満たす技術者を1名現場に配置することとする。
- (15) 下請契約からの社会保険等未加入建設業者の排除等について
工事の施工のために請負契約を締結する工事において、受注者は、原則として、社会保険等未加入建設業者を下請負人とはしないものとする。
ただし、受注者は、社会保険等未加入建設業者を下請負人とすることができる場合がある。
この場合の要件、手続き並びに違約罰等については、入札説明書等による。
- (16) 本工事請負契約における契約約款は、近畿中国森林管理局ホームページの「国有林野事業工事請負契約約款（令和6年4月12日以降に締結する工事の請負契約から適用）」をダウンロードすること。
なお、上記のダウンロードをもって契約約款の交付に代え、契約約款の交付日は本公告日とする。

お知らせ

- 1 農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的として、農林水産省発注者綱紀保持規程（平成19年農林水産省訓令第22号）が制定されました。この規程に基づき、第三者から不当な働きかけを受けた場合は、その事実をホームページで公表するなどの綱紀保持対策を実施しています。
詳しくは、近畿中国森林管理局のホームページ「[発注者綱紀保持対策](#)」をご覧ください。
- 2 農林水産省は、経済財政運営と改革の基本方針2020について（令和2年7月17日閣議決定）に基づき、書面・押印・対面の見直しの一環として、押印省略などに取り組んでいます。

競争参加資格確認結果書

工事（業務）名：城山山腹工事

発注機関名：兵庫森林管理署

入札公告日：令和6年4月24日

競争参加資格確認結果通知日：令和6年5月16日

資格確認申請者	資格の有無	資格がないと認めた理由
株本建設工業株式会社	有	
中一建設株式会社	有	
井口建設株式会社	有	
森山建設株式会社	有	

(備考) 1 「資格の有無」の欄には、資格があると認めた場合には「有」と記載し、資格がないと認めた場合には「無」と記載すること。

2 「資格がないと認めた理由」の欄には、入札公告において示した「競争に参加する者に必要な資格に関する事項」のどの事項を満たさなかったのかを記載すること。

入札執行調書

調達案件番号(第003805007020240001号)									調達案件名称		城山山腹工事 (兵庫森林管理署)	
業者名称	技術評価点								入札第1回			備考
	総計	標準点	技術提案加算点					施工体制 評価点	金額	評価値	順位	
			換算加算点 (小計)	企業の 施工実績	配置予 定技術 者の能力	簡易な 施工計画	企業の 信頼性・ 地域への 貢献					
株本建設工業(株)	156.76	100	26.76	13	5	7	8	30.00	84,000,000	18.661	1	落札
中一建設(株)	147.03	100	17.03	11	5	1	4	30.00	84,700,000	17.358	2	
井口建設(株)	142.97	100	12.97	8	3	1	4	30.00	83,620,000	17.097	3	
森山建設(株)	144.59	100	14.59	9	4	1	4	30.00	85,600,000	16.891	4	

(注) 上記金額は、入札者が見積もった契約金額の110分の100に相当する金額である。

入札執行月日	令和6年6月4日
開札結果は上記の金額の通り相違ありません。	
執行担当者署名	古藤 信義
立会・確認担当者署名	松原 良祐・佐藤 清治郎

令和 6 年度

積算内訳書

工 事 名 城山山腹工事

工 事 場 所 兵庫県芦屋市山芦屋町 城山国有林256林班内

近畿中国森林管理局
兵庫森林管理署

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
山腹工	式	1		43,291,000	費目行
落石防止工	式	1		43,197,000	工種行
落石予防工	式	1		43,197,062	種別行
ワイヤーネット被覆工No. 1	m2	2,700	119,584	322,876	
ワイヤーネット被覆工No. 2	m2	3,900	124,374	485,058	
ワイヤーネット被覆工No. 33,34	m2	2,400	162,658	390,379	
ワイヤーネット被覆工No. 89	m2	1	200,331	200,331	
ワイヤーネット被覆工No. 94	m2	3	143,483	430,449	
ワイヤーネット被覆工No. 111	m2	4,700	107,258	504,112	
ワイヤーネット被覆工No. 112	m2	3,100	133,175	412,842	
ワイヤーネット被覆工No. 125	m2	1,100	187,713	206,484	
ワイヤーネット被覆工No. 126	m2	1,200	189,051	226,861	
ワイヤーネット被覆工No. 127	m2	0,900	206,231	185,607	
ワイヤーネット被覆工No. 128	m2	2,400	146,244	350,985	

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ワイヤーネット被覆工No. 158	m2	2,700	119,413	322,415	
ワイヤーネット被覆工No. 159	m2	1,200	196,946	236,335	
ワイヤーネット被覆工No. 160	m2	0,800	231,369	185,095	
ワイヤーネット被覆工No. 167	m2	1	224,101	224,101	
ワイヤーネット被覆工No. 171, 172	m2	4,700	131,244	616,846	
ワイヤーネット被覆工No. 198	m2	2,800	152,130	425,964	
ワイヤーネット被覆工C-5	m2	115,900	41,375	4,795,362	
ワイヤーネット被覆工C-6	m2	884,900	36,901	32,653,694	
人肩運搬 モノレール～施工箇所	t	6,580	3,232	21,266	
構造物撤去工	式	1		94,000	工種行
運搬処理工	式	1		94,700	種別行
産業廃棄物運搬費（金属くず）	台	2	25,000	50,000	
産業廃棄物処分費（金属くず）	t	4,470	10,000	44,700	
仮設工	式	1		9,707,000	費目行

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設工	式	1		9,707,000	工種行
仮橋・作業構台工	式	1		68,271	種別行
作業構台 荷卸盤台設置・撤去 W2.2×L6.0×1.2m	空m3	15,800	4,321	68,271	
運搬設備工	式	1		8,882,210	種別行
モノレール運搬設備 500kg積/45° L=320m リース期間7ヶ月	式	1		8,882,210	
既設構造物撤去・再設置	式	1		757,119	種別行
高エネルギー吸収柵本体 撤去・再設置	式	1		757,119	
その他費用	式	1		1,219,000	費目行
その他費用	式	1		1,219,000	工種行
その他費用	式	1		1,219,840	種別行
交通誘導警備員B	人	80	15,248	1,219,840	
直接工事費	式	1		54,217,000	
共通仮設費計	式	1		52,000 + 5,074,000 + 601,000 5,727,000	
共通仮設費(積上げ分計)	式	1		52,995 52,000	

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
技術管理費	式	1		52,995	1号内訳書
共通仮設費(率計上)	式	1		$54,217,000 * 9.36 / 100$ 5,074,000	
現場環境改善費(率計上)	式	1		$54,172,300 * 1.11 / 100$ 601,000	
純工事費	式	1		$54,217,000 + 5,727,000$ 59,944,000	
現場管理費	式	1		$59,944,000 * 30.52 / 100$ 18,294,000	
工事原価	式	1		$59,944,000 + 18,294,000$ 78,238,000	
一般管理費等	式	1		$((78,238,000 * (17.63 + 0 + 0) / 100) + 31,295.2) - 0$ 13,824,654	
一般管理費等計	式	1		13,824,654 13,824,000	
工事価格	式	1		92,062,000 92,062,000	
消費税相当額	式	1		$92,062,000 * 10 / 100$ 9,206,200	
請負金額	式	1		$92,062,000 + 9,206,200$ 101,268,200	

内訳書

(1号内訳書)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
確認試験工測定A (ショートアンカー、アンカーピン)	本	1	10,599	10,599		
確認試験工測定B (深層アンカー)	本	2	21,198	42,396		
計				52,995		